

世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ (毎月分配型) <円コース><豪ドルコース><ブラジルリアルコース><中国元コース>

追加型投信／内外／債券

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ (毎月分配型)」は、2018年10月23日に第105期の決算を行いました。

各ファンドは、主として円建ての外国投資信託への投資を通じて、先進国の金融機関が発行したハイブリッド証券に実質的な投資を行い、信託財産の成長を図ることを目的として、積極的な運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2018年4月24日～2018年10月23日

第100期	決算日：2018年5月23日
第101期	決算日：2018年6月25日
第102期	決算日：2018年7月23日
第103期	決算日：2018年8月23日
第104期	決算日：2018年9月25日
第105期	決算日：2018年10月23日

第105期末 (2018年10月23日)

	<円コース>	<豪ドルコース>
基準価額	7,318円	6,812円
純資産総額	720百万円	103百万円
第100期～ 第105期	騰落率 分配金合計	騰落率 分配金合計
	△1.6% 240円	△3.6% 420円
	<ブラジルリアルコース>	<中国元コース>
基準価額	4,411円	10,261円
純資産総額	742百万円	269百万円
第100期～ 第105期	騰落率 分配金合計	騰落率 分配金合計
	△1.6% 300円	△3.9% 330円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。
 (注2) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書 (全体版) を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書 (全体版) は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書 (全体版) は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

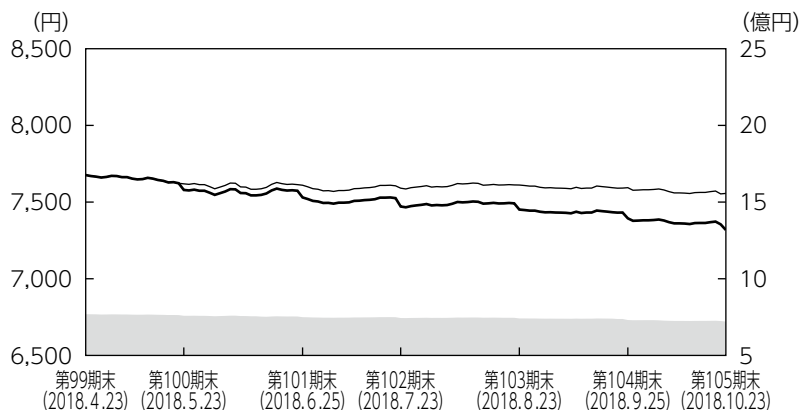
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第100期首： 7,676円
 第105期末： 7,318円
 (既払分配金240円)
 騰落率： $\Delta 1.6\%$
 (分配金再投資ベース)

■ 純資産総額 (右軸) — 基準価額 (左軸) — 分配金再投資基準価額 (左軸)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

F R B (米連邦準備理事会) が年3回の利上げを実施し、今後も追加利上げの姿勢を維持していることを受け、米国の長期国債利回りが上昇(価格は下落)しました。一方、ハイブリッド証券は、イタリアの財政運営に対する不透明感、トルコリラの急落、欧州の銀行が保有するトルコ企業株や投資回収に対する懸念等を受けてリスク回避の動きが広がったことから、国債利回りとの格差を示す信用スプレッドは拡大し、基準価額は下落しました。

◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
ダイアム フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス (JPY)	$\Delta 0.9\%$
D I A Mマネーマザーファンド	$\Delta 0.0\%$

(注) ダイアム フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス (JPY) の騰落率は、分配金を再投資したものとみなして計算したものです。

1 万口当たりの費用明細

項目	第100期～第105期		項目の概要
	(2018年4月24日 ～2018年10月23日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	51円	0.676%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は7,502円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託銀行分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	(19)	(0.249)	
(販売会社)	(30)	(0.406)	
(受託銀行)	(2)	(0.021)	
(b) その他費用	0	0.001	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 その他は、信託事務の処理に要する諸費用
(監査費用)	(0)	(0.001)	
(その他)	(0)	(0.000)	
合計	51	0.677	

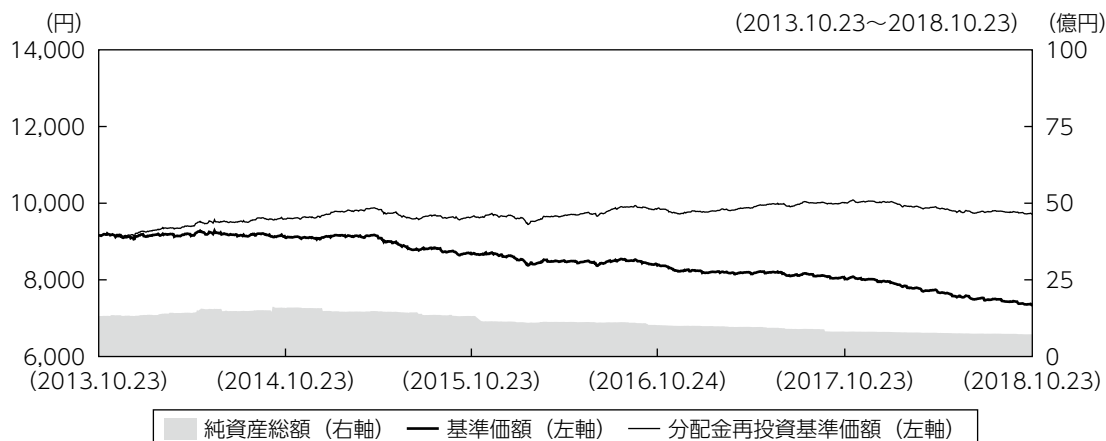
(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2013年10月23日の基準価額に合わせて指数化しています。

		2013年10月23日 期首	2014年10月23日 決算日	2015年10月23日 決算日	2016年10月24日 決算日	2017年10月23日 決算日	2018年10月23日 決算日
基準価額 (分配落)	(円)	9,156	9,098	8,671	8,378	8,021	7,318
期間分配金合計 (税引前)	(円)	—	480	480	480	480	480
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	4.7	0.6	2.2	1.5	△2.9
純資産総額	(百万円)	1,320	1,584	1,318	1,022	810	720

(注) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指標を定めておりません。

投資環境

ハイブリッド証券市場は下落しました。好調な米国経済を背景に米国債利回りが短期ゾーンを中心に上昇（価格は下落）する一方で、ドイツ国債利回りは、2018年5月下旬のイタリア政情不安により大きく低下（価格は上昇）した後、作成期初を下回る水準で推移しました。イタリアの財政運営に対する不透明感、トルコリラの急落、欧州の銀行が保有するトルコ企業株や投資回収に対する懸念等を受けリスク回避の動きが広がったことから、信用スプレッドは拡大しました。

国内短期金融市場では、3ヵ月物国庫短期証券利回りは概ね $\Delta 0.33\% \sim \Delta 0.12\%$ 近辺で推移し、利回りは低下しました。7月31日の日銀金融政策決定会合において政策調整を行うとの観測記事によって国債市場のボラティリティ（価格の変動性）が高まりましたが、国内短期金融市場への影響は限定的でした。

ポートフォリオについて

●当ファンド

ダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス（J P Y）の組入比率は原則として高位を維持し、D I A Mマネーマザーファンドへの投資も行いました。

●ダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス（J P Y）

世界の主要金融機関が発行するハイブリッド証券を中心にポートフォリオを構成しました。発行体の業績動向や信用力に加えて、ハイブリッド証券特有のリスクを評価し、分散投資を基本としました。国別配分においては、フランス、米国、英国のウェイトを高く維持しました。債券種別においては、期限付劣後債のみのポートフォリオとしました。

また、ユーロ、米ドルなど複数通貨（以下、「原資産通貨」といいます。）を売り予約し、円を買い予約する為替取引を行いました。

●D I A Mマネーマザーファンド

残存期間の短い政府保証債などで運用を行いました。

分配金

当作成期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第100期	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期
	2018年4月24日 ~2018年5月23日	2018年5月24日 ~2018年6月25日	2018年6月26日 ~2018年7月23日	2018年7月24日 ~2018年8月23日	2018年8月24日 ~2018年9月25日	2018年9月26日 ~2018年10月23日
当期分配金（税引前）	40円	40円	40円	40円	40円	40円
対基準価額比率	0.53%	0.53%	0.53%	0.53%	0.54%	0.54%
当期の収益	40円	40円	40円	40円	40円	40円
当期の収益以外	-円	-円	-円	-円	-円	-円
翌期繰越分配対象額	220円	221円	222円	223円	223円	225円

（注1）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

（注3）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続き、ダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス（J P Y）を高位に組入れることを基本とした運用を行います。また、D I A Mマネーマザーファンドへの投資も行います。

●ダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス（J P Y）

主要先進国の国債利回りが低水準で推移する中、高い利回りを享受できるハイブリッド証券に対する投資家の需要は根強く、市場は堅調に推移すると思われます。引き続き、発行国、発行体、銘柄の分散を十分に図りながら、世界の主要金融機関に継続して投資します。銘柄選択においては、繰上償還延滞リスク、利息・配当繰延リスクなど、ハイブリッド証券特有のリスクが債券価格に十分織り込まれた銘柄を厳選します。加えて、「原資産通貨」を売り予約し、円を買い予約する為替取引を行います。

●D I A Mマネーマザーファンド

日銀の金融政策の物価目標2%までは依然として距離があるため、当面は政策の据え置きが予想されます。マイナス金利政策が継続されると考えられるため、政府保証債や地方債などを組入れて運用を行っていきます。

お知らせ

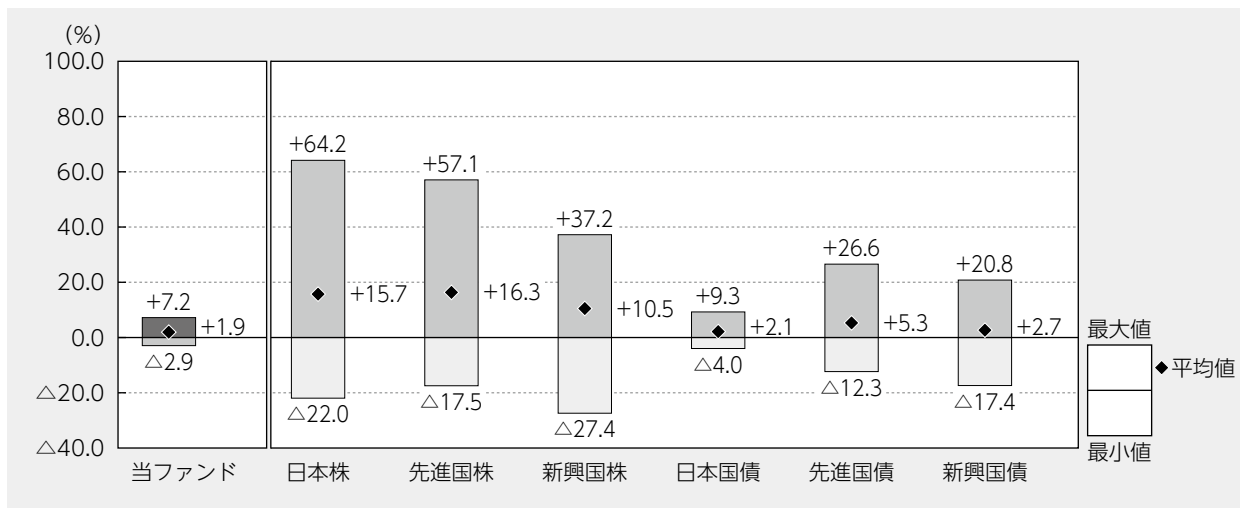
■信用リスクを適正に管理する方法を規定する所要の約款変更を行いました。

(2018年7月24日)

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	2010年1月20日から2020年1月23日までです。
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として、積極的な運用を行います。
主要投資対象	主として円建ての外国投資信託である「ダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス（J P Y）」の投資信託証券へ投資を行います。また、証券投資信託である「D I A Mマネーマザーファンド」受益証券への投資も行います。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。
運用方法	<p>主として円建ての外国投資信託への投資を通じて、先進国の金融機関（*1）が発行したハイブリッド証券（*2）に実質的な投資を行います。外国投資信託への投資比率は、原則として高位を保ちます。</p> <p>（*1）金融機関に関連する特別目的会社を含みます。</p> <p>（*2）ハイブリッド証券とは、普通社債と株式の中間的特性を有する有価証券であり、劣後債、優先出資証券などをいいます。</p> <p>外国投資信託においては、ユーロ、米ドルなど複数通貨（以下、「原資産通貨」といいます。）建てのハイブリッド証券に投資しますが、この「原資産通貨」を売り予約し、円を買い予約する為替取引を行います。</p>
分配方針	<p>決算日（原則として毎月23日。休業日の場合は翌営業日。）に、経費控除後の利子配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。原則として利子配当等収益等を中心に安定分配を行うことを基本とします。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。また、毎年1月および7月の決算時には、上記安定分配相当額に委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。</p> <p>「原則として利子配当等収益等を中心に安定分配を行う」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。また、基準価額の水準、運用の状況等によっては安定分配とならない場合があることにご留意ください。</p>

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2013年10月～2018年9月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容（2018年10月23日現在）

世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ（毎月分配型）＜円コース＞

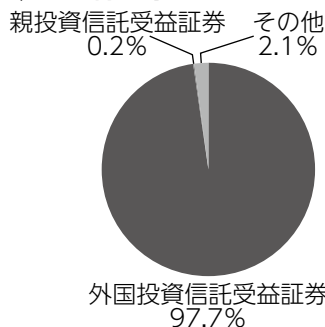
◆組入ファンド等（組入ファンド数：2ファンド）

	第105期末
	2018年10月23日
ダイヤモンドファイナンスセキュリティーズファンドクラス（JPY）	97.7%
DIAMマネーマザーファンド	0.2
その他	2.1

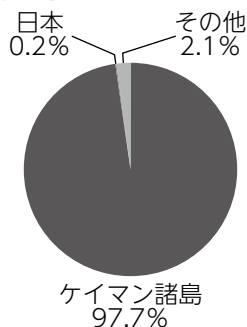
（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

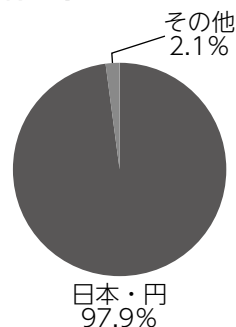
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

純資産等

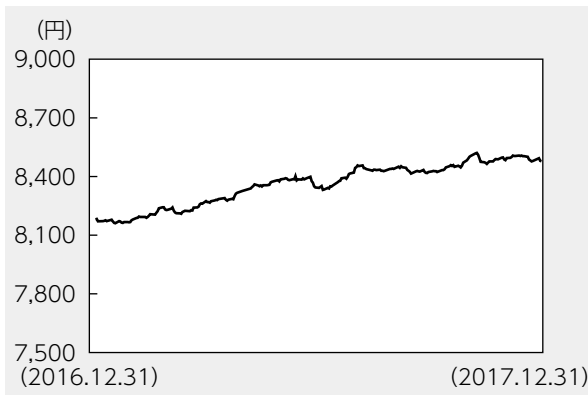
項目	第100期末	第101期末	第102期末	第103期末	第104期末	第105期末
	2018年5月23日	2018年6月25日	2018年7月23日	2018年8月23日	2018年9月25日	2018年10月23日
純資産総額	758,598,208円	749,513,245円	743,868,774円	741,269,675円	730,940,081円	720,829,569円
受益権総口数	1,000,887,567口	995,350,164口	995,613,285口	994,920,934口	988,603,364口	984,960,181口
1万円当たり基準価額	7,579円	7,530円	7,471円	7,451円	7,394円	7,318円

（注）当作成期間（第100期～第105期）中における追加設定元本額は1,811,753円、同解約元本額は18,445,419円です。

組入ファンドの概要

【ダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス (JPY)】 (計算期間 2017年1月1日~2017年12月31日)

◆基準価額の推移



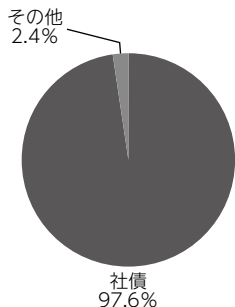
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
ABN AMRO BANK N 7.125% 07/06/2022	ユーロ	3.8%
SANTANDER ISSUA 2.50% 03/18/25	ユーロ	3.8
BANQ FED CRD MU 3.00% 05/21/24	ユーロ	3.7
BPCE 4.63% 07/18/23	ユーロ	3.6
SKANDINAV ENSKI 05/28/26	ユーロ	3.5
BBVA SUB CAP UNIPERS 3.5% 04/11/24	ユーロ	3.1
SOCIETE GENERAL 4.00% 06/07/23	ユーロ	2.8
CREDIT SUISSE FXtoVA 09/18/25	ユーロ	2.7
INTESA SANPAOLO 3.93% 09/15/26	ユーロ	2.6
CREDIT AGRICOLE 7.38% 12/18/23	イギリス・ポンド	2.6
組入銘柄数	56銘柄	

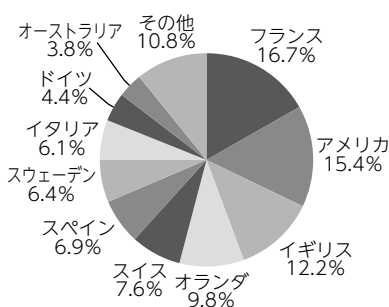
◆1口当たりの費用明細

当該情報の取得が不可能なため開示しておりません。

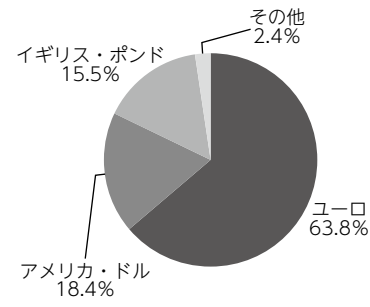
◆資産別配分



◆国別配分



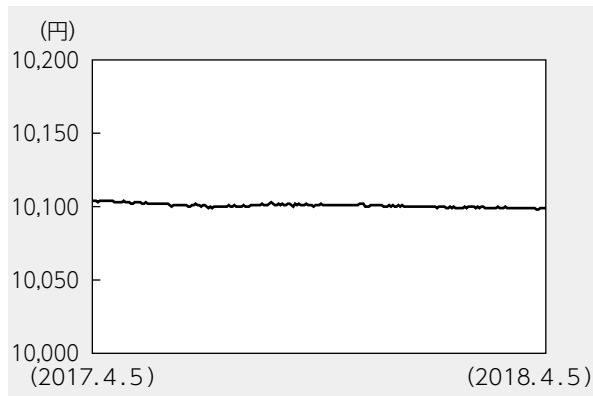
◆通貨別配分



- (注1) 基準価額の推移はダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス (JPY) の計算期間 (決算日が休日の場合は前営業日まで) のものです。また、分配金を再投資したものとしてアセットマネジメントOneが作成したものです。
- (注2) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分については、ダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンドの決算日 (決算日が休日の場合は前営業日) 現在の状況を表示しております。なお、組入外貨建資産については、ダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス (JPY) において、「原資産通貨」を売り予約し、円を買い予約する為替取引を行っています。
- (注3) 比率はダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンドの純資産総額に対する組入有価証券評価額の割合です。
- (注4) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。
- (注5) 国別配分については、上位11位以下をその他に含めて集計しています。
- (注6) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、管理事務代行会社であるMizuho Bank(USA)のデータを基にアセットマネジメントOneが作成したものです。組入全銘柄や費用の総額に関する詳細な情報等については、運用報告書 (全体版) に記載されています。

【DIAMマネーマザーファンド】（計算期間 2017年4月6日～2018年4月5日）

◆基準価額の推移



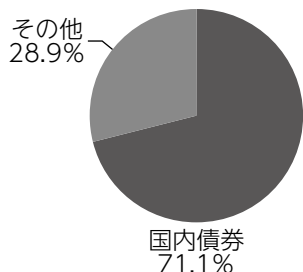
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
15回 政保東日本高速道路債券	日本・円	9.8%
71回 政保日本高速道路保有・債務返済機構	日本・円	9.8
1回 政保地方公営企業金融機構債券	日本・円	9.8
194回 政保中小企業債券	日本・円	9.8
199回 政保預金保険機構債券	日本・円	9.7
112回 政保日本高速道路保有・債務返済機構	日本・円	3.0
55回 政保関西国際空港債	日本・円	2.9
26年度4回 静岡県公募公債	日本・円	1.4
27年度2回 千葉県公募公債	日本・円	1.4
27年度 京都府京都市みらい債	日本・円	1.3
組入銘柄数	27銘柄	

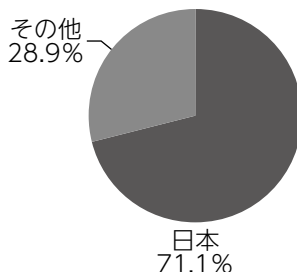
◆1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

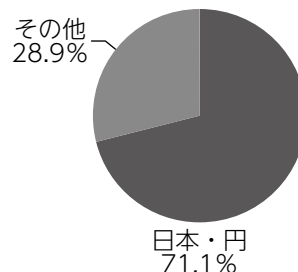
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

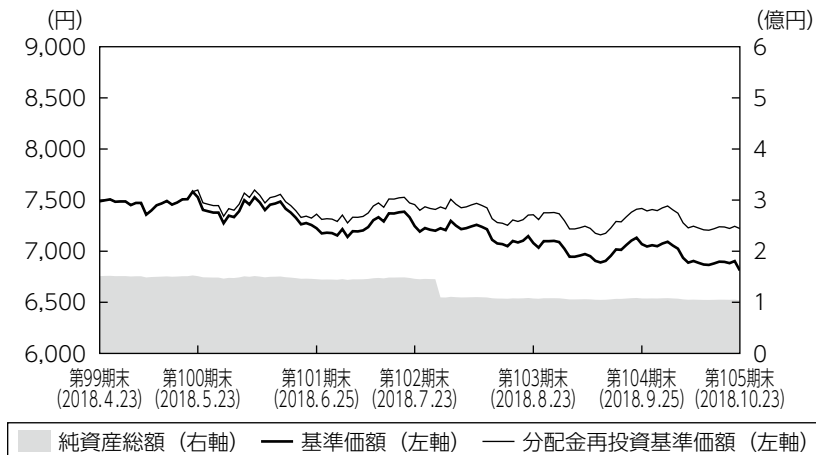
(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注4) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注5) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

運用経過の説明

基準価額等の推移



第100期首： 7,489円
 第105期末： 6,812円
 (既払分配金420円)
 騰落率： $\Delta 3.6\%$
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

ハイブリッド証券利回りと国債利回りの格差を示す信用スプレッドが拡大するとともに、米国の金利上昇を背景にハイブリッド証券価格が下落したことがマイナス要因となりました。加えて、豪ドルが投資家のリスク回避の動きを背景に対円で下落したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。

◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
ダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス (AUD)	$\Delta 3.2\%$
DIAMマネーマザーファンド	$\Delta 0.0\%$

(注) ダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス (AUD) の騰落率は、分配金を再投資したものとみなして計算したものです。

1 万口当たりの費用明細

項目	第100期～第105期 (2018年4月24日 ～2018年10月23日)		項目の概要
	金額	比率	
	(a) 信託報酬	49円	
(投信会社)	(18)	(0.249)	
(販売会社)	(29)	(0.406)	
(受託銀行)	(2)	(0.021)	
(b) その他費用	0	0.001	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 その他は、信託事務の処理に要する諸費用
(監査費用)	(0)	(0.001)	
(その他)	(0)	(0.000)	
合計	49	0.677	

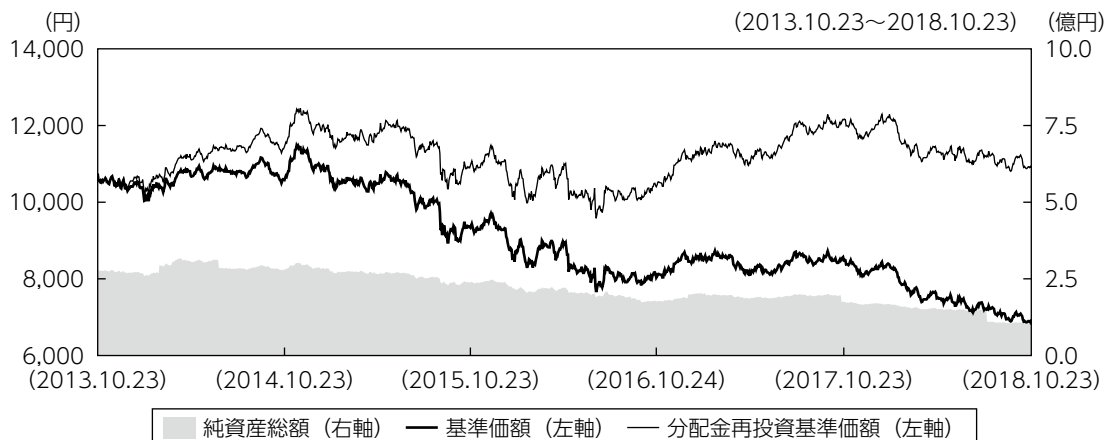
(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2013年10月23日の基準価額に合わせて指数化しています。

		2013年10月23日 期首	2014年10月23日 決算日	2015年10月23日 決算日	2016年10月24日 決算日	2017年10月23日 決算日	2018年10月23日 決算日
基準価額 (分配落)	(円)	10,744	10,582	9,332	8,030	8,489	6,812
期間分配金合計 (税引前)	(円)	—	840	840	840	840	840
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	6.6	△4.3	△5.0	16.8	△10.3
純資産総額	(百万円)	281	279	237	175	174	103

(注) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指標を定めておりません。

投資環境

ハイブリッド証券市場は下落しました。好調な米国経済を背景に米国債利回りが短期ゾーンを中心に上昇（価格は下落）する一方で、ドイツ国債利回りは、2018年5月下旬のイタリア政情不安により大きく低下（価格は上昇）した後、作成期初を下回る水準で推移しました。イタリアの財政運営に対する不透明感、トルコリラの急落、欧州の銀行が保有するトルコ企業株や投資回収に対する懸念等を受けリスク回避の動きが広がったことから、信用スプレッドは拡大しました。

豪ドル／円相場は円高豪ドル安となりました。当作成期は、オーストラリア経済が緩やかな回復基調を示し、失業率も低位で推移しました。しかしながら、労働賃金が伸び悩んだこと等からRBA（オーストラリア準備銀行）が政策金利を1.50%に維持し、漸進的な利上げを続ける米国との金利差は拡大しました。また、米中貿易摩擦によるオーストラリア経済への影響が懸念されたことや家計債務の増加による不透明要因等も、豪ドル安の要因となりました。

国内短期金融市場では、3ヵ月物国庫短期証券利回りは概ね $\Delta 0.33\%$ ～ $\Delta 0.12\%$ 近辺で推移し、利回りは低下しました。7月31日の日銀金融政策決定会合において政策調整を行うとの観測記事によって国債市場のボラティリティ（価格の変動性）が高まりましたが、国内短期金融市場への影響は限定的でした。

ポートフォリオについて

●当ファンド

ダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス（AUD）の組入比率は原則として高位を維持し、DIAMマネーマザーファンドへの投資も行いました。

●ダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス（AUD）

世界の主要金融機関が発行するハイブリッド証券を中心にポートフォリオを構成しました。発行体の業績動向や信用力に加えて、ハイブリッド証券特有のリスクを評価し、分散投資を基本としました。国別配分においては、フランス、米国、英国のウェイトを高く維持しました。債券種別においては、期限付劣後債のみのポートフォリオとしました。

また、ユーロ、米ドルなど複数通貨（以下、「原資産通貨」といいます。）を売り予約し、豪ドルを買い予約する為替取引を行いました。

●DIAMマネーマザーファンド

残存期間の短い政府保証債などで運用を行いました。

分配金

当作成期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第100期	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期
	2018年4月24日 ~2018年5月23日	2018年5月24日 ~2018年6月25日	2018年6月26日 ~2018年7月23日	2018年7月24日 ~2018年8月23日	2018年8月24日 ~2018年9月25日	2018年9月26日 ~2018年10月23日
当期分配金（税引前）	70円	70円	70円	70円	70円	70円
対基準価額比率	0.92%	0.96%	0.96%	0.98%	0.98%	1.02%
当期の収益	70円	69円	70円	67円	67円	69円
当期の収益以外	-円	0円	-円	2円	2円	0円
翌期繰越分配対象額	2,304円	2,303円	2,306円	2,303円	2,301円	2,300円

（注1）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

（注3）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続き、ダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス（AUD）を高位に組入れることを基本とした運用を行います。また、D I AMマネーマザーファンドへの投資も行います。

●ダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス（AUD）

主要先進国の国債利回りが低水準で推移する中、高い利回りを享受できるハイブリッド証券に対する投資家の需要は根強く、市場は堅調に推移すると思われます。引き続き、発行国、発行体、銘柄の分散を十分に図りながら、世界の主要金融機関に継続して投資します。銘柄選択においては、繰上償還リスク、利息・配当繰延リスクなど、ハイブリッド証券特有のリスクが債券価格に十分織り込まれた銘柄を厳選します。加えて、「原資産通貨」を売り予約し、豪ドルを買い予約する為替取引を行います。

●D I AMマネーマザーファンド

日銀の金融政策の物価目標2%までは依然として距離があるため、当面は政策の据え置きが予想されます。マイナス金利政策が継続されると考えられるため、政府保証債や地方債などを組入れて運用を行っていきます。

お知らせ

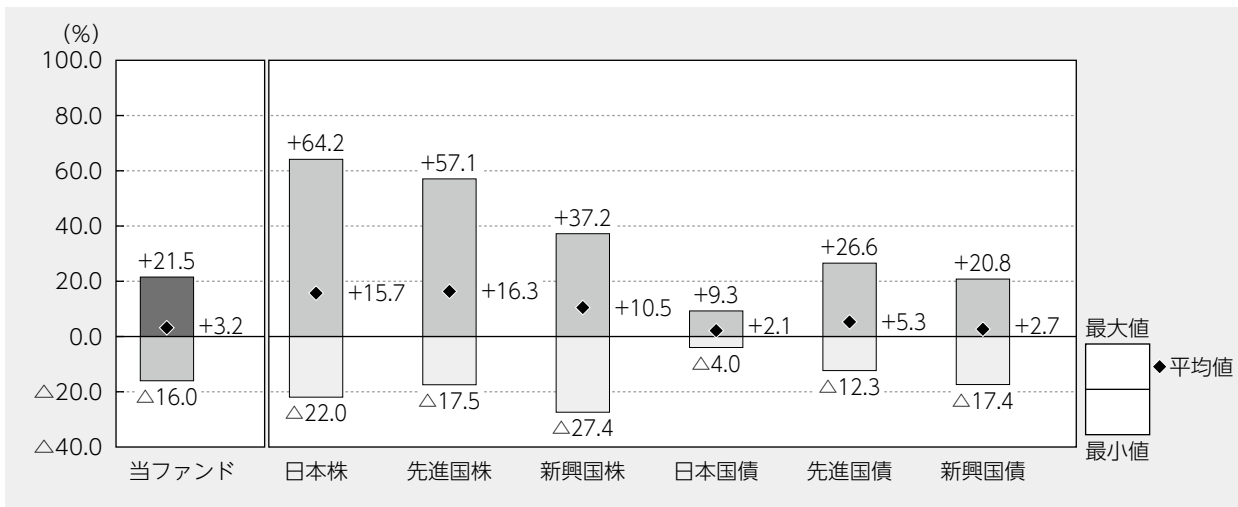
■信用リスクを適正に管理する方法を規定する所要の約款変更を行いました。

(2018年7月24日)

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	2010年1月20日から2020年1月23日までです。
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として、積極的な運用を行います。
主要投資対象	主として円建ての外国投資信託である「ダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス (AUD)」の投資信託証券へ投資を行います。また、証券投資信託である「DIAMマネーマザーファンド」受益証券への投資も行います。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。
運用方法	主として円建ての外国投資信託への投資を通じて、先進国の金融機関(*1)が発行したハイブリッド証券(*2)に実質的な投資を行います。外国投資信託への投資比率は、原則として高位を保ちます。 (*1) 金融機関に関連する特別目的会社を含みます。 (*2) ハイブリッド証券とは、普通社債と株式の中間的特性を有する有価証券であり、劣後債、優先出資証券などをいいます。 外国投資信託においては、ユーロ、米ドルなど複数通貨(以下、「原資産通貨」といいます。)建てのハイブリッド証券に投資しますが、この「原資産通貨」を売り予約し、豪ドルを買い予約する為替取引を行います。
分配方針	決算日(原則として毎月23日。休業日の場合は翌営業日。)に、経費控除後の利子配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額を分配対象額とし、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。原則として利子配当等収益等を中心に安定分配を行うことを基本とします。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。また、毎年1月および7月の決算時には、上記安定分配相当額に委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。 「原則として利子配当等収益等を中心に安定分配を行う」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。また、基準価額の水準、運用の状況等によっては安定分配とならない場合があることにご留意ください。

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2013年10月～2018年9月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容 (2018年10月23日現在)

世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ (毎月分配型) <豪ドルコース>

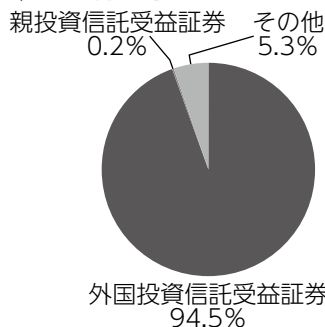
◆組入ファンド等 (組入ファンド数：2ファンド)

	第105期末
	2018年10月23日
ダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス (AUD)	94.5%
D I A M マネーマザーファンド	0.2
その他	5.3

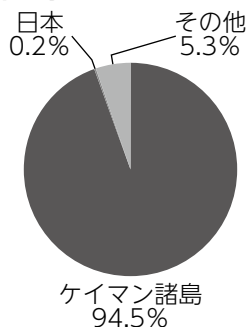
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

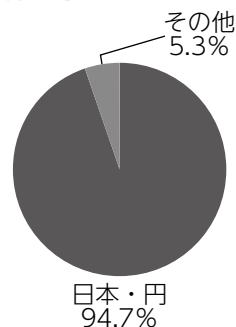
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

純資産等

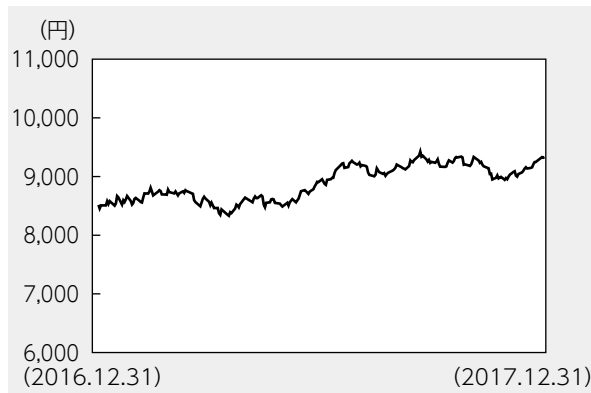
項目	第100期末	第101期末	第102期末	第103期末	第104期末	第105期末
	2018年5月23日	2018年6月25日	2018年7月23日	2018年8月23日	2018年9月25日	2018年10月23日
純資産総額	151,224,880円	145,264,656円	145,958,042円	107,454,107円	107,537,329円	103,840,535円
受益権総口数	200,872,645口	201,097,179口	201,432,391口	151,773,935口	152,122,625口	152,444,885口
1万口当たり基準価額	7,528円	7,224円	7,246円	7,080円	7,069円	6,812円

(注) 当作成期間 (第100期～第105期) 中における追加設定元本額は2,034,074円、同解約元本額は51,526,731円です。

組入ファンドの概要

【ダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス (AUD)】（計算期間 2017年1月1日～2017年12月31日）

◆基準価額の推移



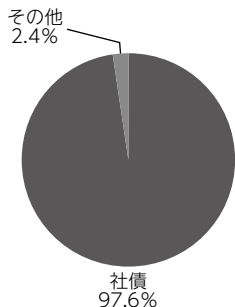
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
ABN AMRO BANK N 7.125% 07/06/2022	ユーロ	3.8%
SANTANDER ISSUA 2.50% 03/18/25	ユーロ	3.8
BANQ FED CRD MU 3.00% 05/21/24	ユーロ	3.7
BPCE 4.63% 07/18/23	ユーロ	3.6
SKANDINAV ENSKI 05/28/26	ユーロ	3.5
BBVA SUB CAP UNIPERS 3.5% 04/11/24	ユーロ	3.1
SOCIETE GENERAL 4.00% 06/07/23	ユーロ	2.8
CREDIT SUISSE FXtoVA 09/18/25	ユーロ	2.7
INTESA SANPAOLO 3.93% 09/15/26	ユーロ	2.6
CREDIT AGRICOLE 7.38% 12/18/23	イギリス・ポンド	2.6
組入銘柄数	56銘柄	

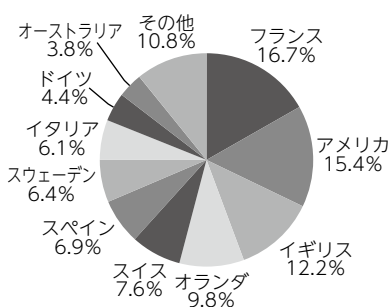
◆1口当たりの費用明細

当該情報の取得が不可能なため開示しておりません。

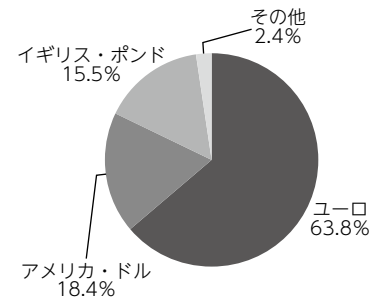
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分

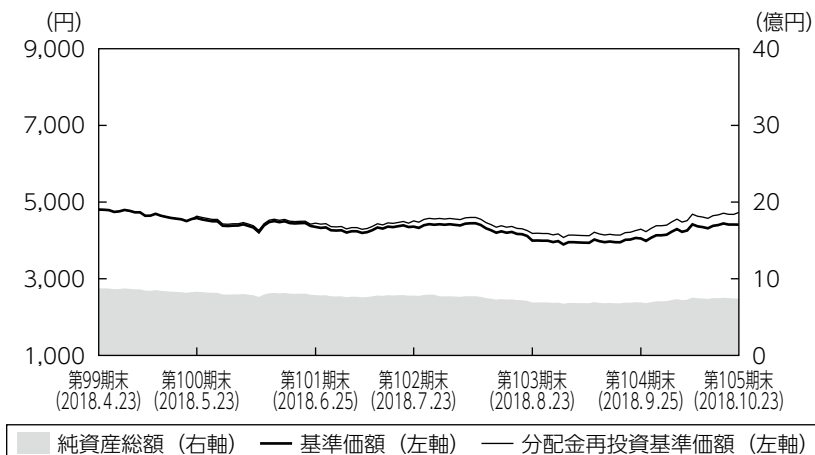


- (注1) 基準価額の推移はダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス (AUD) の計算期間（決算日が休日の場合は前営業日まで）のもので、また、分配金を再投資したものとアセットマネジメントOneが作成したものです。
- (注2) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分については、ダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンドの決算日（決算日が休日の場合は前営業日）現在の状況を表示しております。なお、組入外貨建資産については、ダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス (AUD) において、「原資産通貨」を売り予約し、豪ドルを買い予約する為替取引を行っています。
- (注3) 比率はダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンドの純資産総額に対する組入有価証券評価額の割合です。
- (注4) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。
- (注5) 国別配分については、上位11位以下をその他に含めて集計しています。
- (注6) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、管理事務代行会社であるMizuho Bank(USA)のデータを基にアセットマネジメントOneが作成したものです。組入全銘柄や費用の総額に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

D I A Mマナーマザーファンドの概要については、11ページをご覧ください。

運用経過の説明

基準価額等の推移



第100期首： 4,805円
 第105期末： 4,411円
 (既払分配金300円)
 騰落率： $\Delta 1.6\%$
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

為替取引によるプレミアム収入がプラス要因となったものの、ハイブリッド証券利回りと国債利回りの格差を示す信用スプレッドの拡大や、米国の金利上昇を背景としたハイブリッド証券価格の下落、ブラジルリアルが国内政治の不透明感や投資家のリスク回避の動きを背景に対円で下落したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。

◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
ダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス (BRL)	$\Delta 1.0\%$
DIAMマネーマザーファンド	$\Delta 0.0\%$

(注) ダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス (BRL) の騰落率は、分配金を再投資したものとみなして計算したものです。

1 万口当たりの費用明細

項目	第100期～第105期 (2018年4月24日 ～2018年10月23日)		項目の概要
	金額	比率	
	(a) 信託報酬	29円	
(投信会社)	(11)	(0.248)	
(販売会社)	(18)	(0.405)	
(受託銀行)	(1)	(0.021)	
(b) その他費用	0	0.001	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 その他は、信託事務の処理に要する諸費用
(監査費用)	(0)	(0.001)	
(その他)	(0)	(0.000)	
合計	29	0.676	

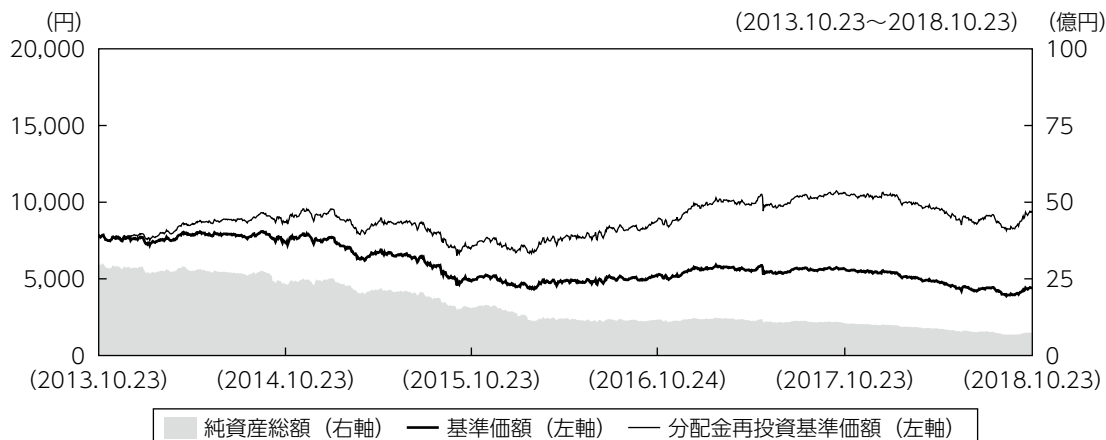
(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2013年10月23日の基準価額に合わせて指数化しています。

		2013年10月23日 期首	2014年10月23日 決算日	2015年10月23日 決算日	2016年10月24日 決算日	2017年10月23日 決算日	2018年10月23日 決算日
基準価額 (分配落)	(円)	7,873	7,355	4,851	5,192	5,638	4,411
期間分配金合計 (税引前)	(円)	—	1,320	1,290	750	600	600
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	10.8	△19.4	24.9	20.9	△11.1
純資産総額	(百万円)	3,001	2,324	1,539	1,160	1,053	742

(注) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指標を定めておりません。

投資環境

ハイブリッド証券市場は下落しました。好調な米国経済を背景に米国債利回りが短期ゾーンを中心に上昇（価格は下落）する一方で、ドイツ国債利回りは、2018年5月下旬のイタリア政情不安により大きく低下（価格は上昇）した後、作成期初を下回る水準で推移しました。イタリアの財政運営に対する不透明感、トルコリラの急落、欧州の銀行が保有するトルコ企業株や投資回収に対する懸念等を受けリスク回避の動きが広がったことから、信用スプレッドは拡大しました。

ブラジルリアル／円相場は円高リアル安となりました。当作成期は、2018年10月に予定されていた大統領選挙や年金改革を含む財政構造改革の停滞など国内の政治的な不透明感、アルゼンチンやトルコに端を発する新興国通貨の急落、米国の保護主義的な政策への懸念等がリアル安の要因となりました。9月中旬以降、リアルは上昇に転じましたが、作成期初の水準まで回復するには至りませんでした。

国内短期金融市場では、3ヵ月物国庫短期証券利回りは概ね $\Delta 0.33\% \sim \Delta 0.12\%$ 近辺で推移し、利回りは低下しました。7月31日の日銀金融政策決定会合において政策調整を行うとの観測記事によって国債市場のボラティリティ（価格の変動性）が高まりましたが、国内短期金融市場への影響は限定的でした。

ポートフォリオについて

●当ファンド

ダイアム フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス（BRL）の組入比率は原則として高位を維持し、DIAMマネーマザーファンドへの投資も行いました。

●ダイアム フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス（BRL）

世界の主要金融機関が発行するハイブリッド証券を中心にポートフォリオを構成しました。発行体の業績動向や信用力に加えて、ハイブリッド証券特有のリスクを評価し、分散投資を基本としました。国別配分においては、フランス、米国、英国のウェイトを高く維持しました。債券種別においては、期限付劣後債のみのポートフォリオとしました。

また、ユーロ、米ドルなど複数通貨（以下、「原資産通貨」といいます。）を売り予約し、ブラジルリアルを買い予約する為替取引を行いました。

●DIAMマネーマザーファンド

残存期間の短い政府保証債などで運用を行いました。

分配金

当作成期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第100期	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期
	2018年4月24日 ~2018年5月23日	2018年5月24日 ~2018年6月25日	2018年6月26日 ~2018年7月23日	2018年7月24日 ~2018年8月23日	2018年8月24日 ~2018年9月25日	2018年9月26日 ~2018年10月23日
当期分配金（税引前）	50円	50円	50円	50円	50円	50円
対基準価額比率	1.08%	1.14%	1.13%	1.24%	1.22%	1.12%
当期の収益	50円	50円	50円	50円	50円	50円
当期の収益以外	-円	-円	-円	-円	-円	-円
翌期繰越分配対象額	1,256円	1,268円	1,282円	1,295円	1,311円	1,329円

（注1）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

（注3）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続き、ダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス（B R L）を高位に組入れることを基本とした運用を行います。また、D I A Mマネーマザーファンドへの投資も行います。

●ダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス（B R L）

主要先進国の国債利回りが低水準で推移する中、高い利回りを享受できるハイブリッド証券に対する投資家の需要は根強く、市場は堅調に推移すると思われます。引き続き、発行国、発行体、銘柄の分散を十分に図りながら、世界の主要金融機関に継続して投資します。銘柄選択においては、繰上償還リスク、利息・配当繰延リスクなど、ハイブリッド証券特有のリスクが債券価格に十分織り込まれた銘柄を厳選します。加えて、「原資産通貨」を売り予約し、ブラジルレアルを買い予約する為替取引を行います。

●D I A Mマネーマザーファンド

日銀の金融政策の物価目標2%までは依然として距離があるため、当面は政策の据え置きが予想されます。マイナス金利政策が継続されると考えられるため、政府保証債や地方債などを組入れて運用を行っていきます。

お知らせ

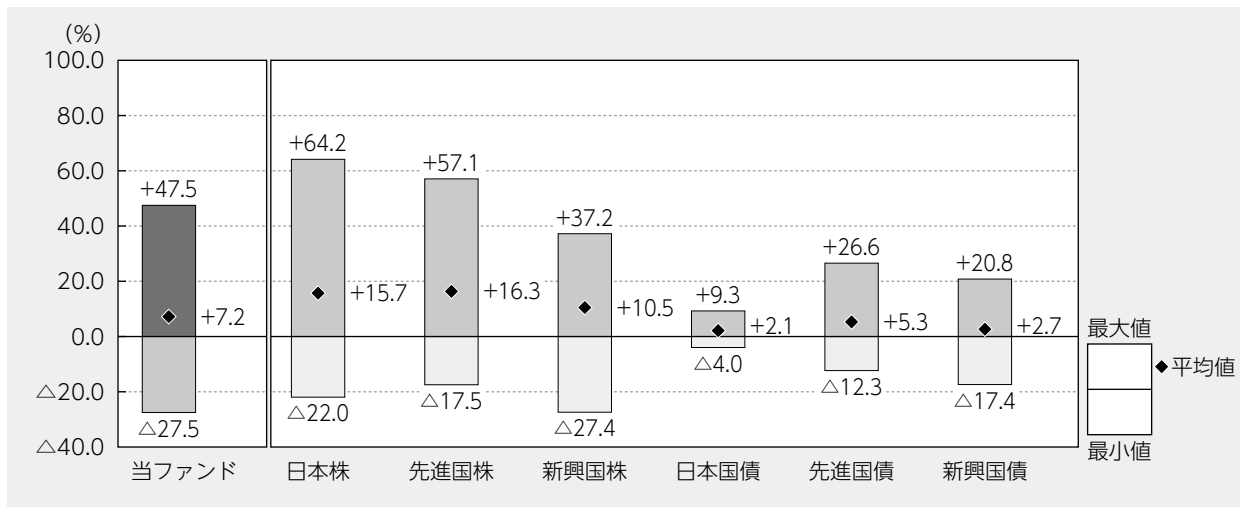
■信用リスクを適正に管理する方法を規定する所要の約款変更を行いました。

(2018年7月24日)

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	2010年1月20日から2020年1月23日までです。
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として、積極的な運用を行います。
主要投資対象	主として円建ての外国投資信託である「ダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス (B R L)」の投資信託証券へ投資を行います。また、証券投資信託である「D I A Mマネーマザーファンド」受益証券への投資も行います。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。
運用方法	主として円建ての外国投資信託への投資を通じて、先進国の金融機関(*1)が発行したハイブリッド証券(*2)に実質的な投資を行います。外国投資信託への投資比率は、原則として高位を保ちます。 (*1) 金融機関に関連する特別目的会社を含みます。 (*2) ハイブリッド証券とは、普通社債と株式の中間的特性を有する有価証券であり、劣後債、優先出資証券などをいいます。 外国投資信託においては、ユーロ、米ドルなど複数通貨(以下、「原資産通貨」といいます。)建てのハイブリッド証券に投資しますが、この「原資産通貨」を売り予約し、ブラジルレアルを買い予約する為替取引を行います。
分配方針	決算日(原則として毎月23日。休業日の場合は翌営業日。)に、経費控除後の利子配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額を分配対象額とし、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。原則として利子配当等収益等を中心に安定分配を行うことを基本とします。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。また、毎年1月および7月の決算時には、上記安定分配相当額に委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。 「原則として利子配当等収益等を中心に安定分配を行う」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。また、基準価額の水準、運用の状況等によっては安定分配とならない場合があることにご留意ください。

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2013年10月～2018年9月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容 (2018年10月23日現在)

世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ (毎月分配型) <ブラジルリアルコース>

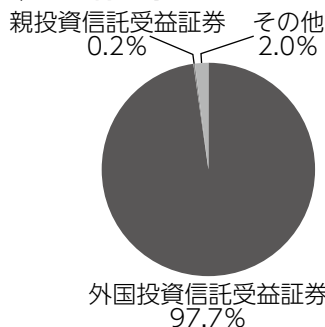
◆組入ファンド等 (組入ファンド数：2ファンド)

	第105期末
	2018年10月23日
ダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス (BRL)	97.7%
D I A M マネーマザーファンド	0.2
その他	2.0

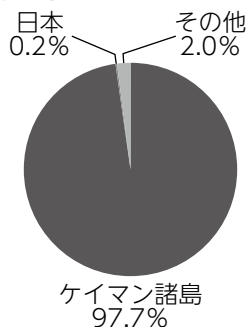
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

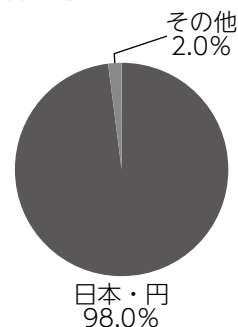
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

純資産等

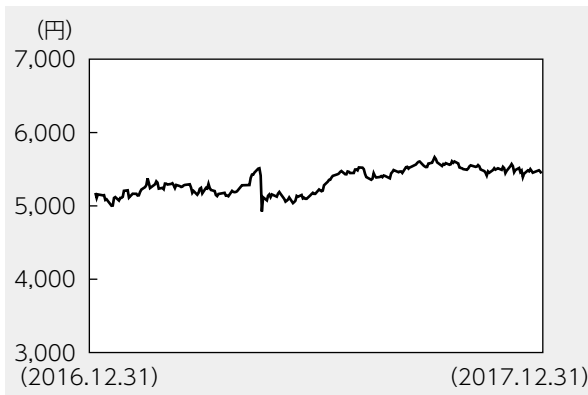
項目	第100期末	第101期末	第102期末	第103期末	第104期末	第105期末
	2018年5月23日	2018年6月25日	2018年7月23日	2018年8月23日	2018年9月25日	2018年10月23日
純資産総額	830,771,337円	785,864,706円	780,808,970円	690,329,430円	691,541,253円	742,143,309円
受益権総口数	1,812,907,721口	1,805,489,460口	1,790,315,162口	1,728,017,100口	1,707,109,377口	1,682,534,376口
1万口当たり基準価額	4,583円	4,353円	4,361円	3,995円	4,051円	4,411円

(注) 当作成期間 (第100期～第105期) 中における追加設定元本額は31,766,413円、同解約元本額は168,663,920円です。

組入ファンドの概要

【ダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス (B R L)】（計算期間 2017年1月1日～2017年12月31日）

◆基準価額の推移



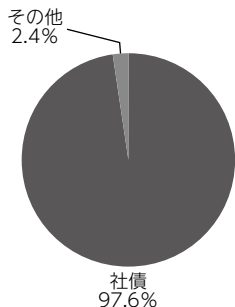
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
ABN AMRO BANK N 7.125% 07/06/2022	ユーロ	3.8%
SANTANDER ISSUA 2.50% 03/18/25	ユーロ	3.8
BANQ FED CRD MU 3.00% 05/21/24	ユーロ	3.7
BPCE 4.63% 07/18/23	ユーロ	3.6
SKANDINAV ENSKI 05/28/26	ユーロ	3.5
BBVA SUB CAP UNIPERS 3.5% 04/11/24	ユーロ	3.1
SOCIETE GENERAL 4.00% 06/07/23	ユーロ	2.8
CREDIT SUISSE FXtoVA 09/18/25	ユーロ	2.7
INTESA SANPAOLO 3.93% 09/15/26	ユーロ	2.6
CREDIT AGRICOLE 7.38% 12/18/23	イギリス・ポンド	2.6
組入銘柄数	56銘柄	

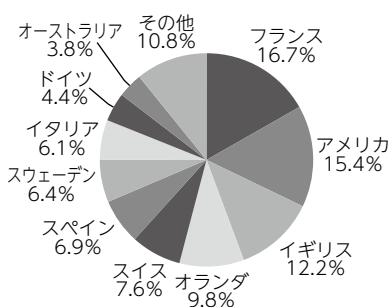
◆1口当たりの費用明細

当該情報の取得が不可能なため開示しておりません。

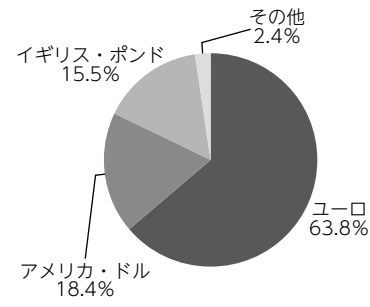
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分

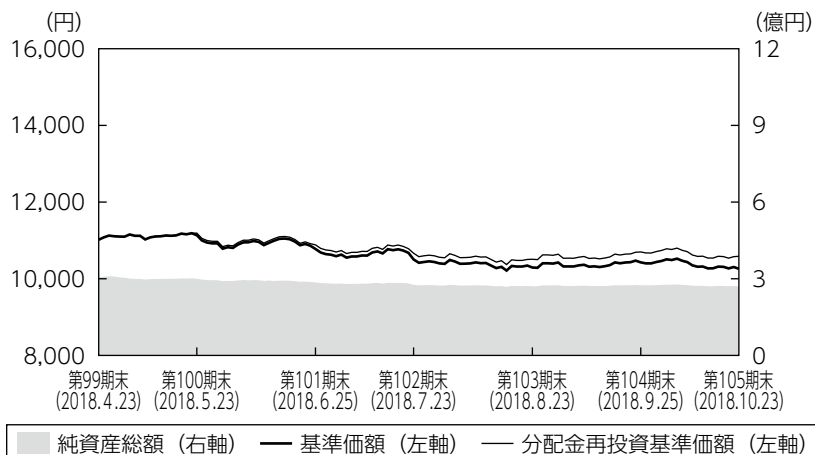


- (注1) 基準価額の推移はダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス (B R L) の計算期間（決算日が休日の場合は前営業日まで）のもので、また、分配金を再投資したものとアセットマネジメントOneが作成したものです。
- (注2) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分については、ダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンドの決算日（決算日が休日の場合は前営業日）現在の状況を表示しております。なお、組入外貨建資産については、ダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス (B R L) において、「原資産通貨」を売り予約し、ブラジルリアルを買い予約する為替取引を行っています。
- (注3) 比率はダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンドの純資産総額に対する組入有価証券評価額の割合です。
- (注4) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。
- (注5) 国別配分については、上位11位以下をその他に含めて集計しています。
- (注6) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、管理事務代行会社であるMizuho Bank(USA)のデータを基にアセットマネジメントOneが作成したものです。組入全銘柄や費用の総額に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

D I A Mマネーマザーファンドの概要については、11ページをご覧ください。

運用経過の説明

基準価額等の推移



第100期首： 11,019円
 第105期末： 10,261円
 (既払分配金330円)
 騰落率： △3.9%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

ハイブリッド証券利回りと国債利回りの格差を示す信用スプレッドが拡大するとともに、米国の金利上昇を背景にハイブリッド証券価格が下落したことに加えて、中国元が米中の貿易摩擦悪化に対する投資家のリスク回避の動きなどを背景に対円で下落したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。

◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
ダイアム フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス (CNY)	△3.4%
D I A Mマネーマザーファンド	△0.0%

(注) ダイアム フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス (CNY) の騰落率は、分配金を再投資したものとみなして計算したものです。

1 万口当たりの費用明細

項目	第100期～第105期 (2018年4月24日 ～2018年10月23日)		項目の概要
	金額	比率	
	(a) 信託報酬	72円	
(投信会社)	(26)	(0.249)	
(販売会社)	(43)	(0.406)	
(受託銀行)	(2)	(0.021)	
(b) その他費用	0	0.001	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 その他は、信託事務の処理に要する諸費用
(監査費用)	(0)	(0.001)	
(その他)	(0)	(0.000)	
合計	72	0.677	

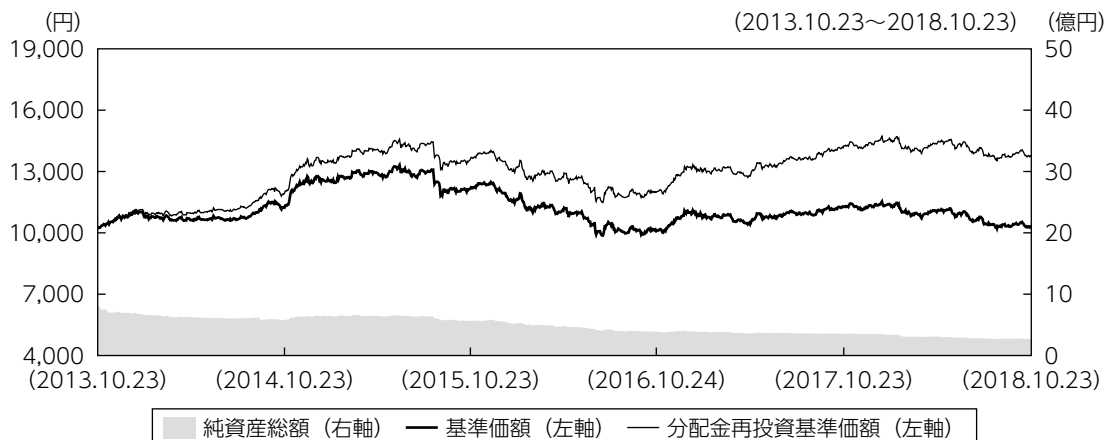
(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2013年10月23日の基準価額に合わせて指数化しています。

		2013年10月23日 期首	2014年10月23日 決算日	2015年10月23日 決算日	2016年10月24日 決算日	2017年10月23日 決算日	2018年10月23日 決算日
基準価額 (分配落)	(円)	10,312	11,232	12,153	10,080	11,276	10,261
期間分配金合計 (税引前)	(円)	—	660	660	660	660	660
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	15.7	14.0	△11.9	18.9	△3.3
純資産総額	(百万円)	796	578	563	386	354	269

(注) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指標を定めておりません。

投資環境

ハイブリッド証券市場は下落しました。好調な米国経済を背景に米国債利回りが短期ゾーンを中心に上昇（価格は下落）する一方で、ドイツ国債利回りは、2018年5月下旬のイタリア政情不安により大きく低下（価格は上昇）した後、作成期初を下回る水準で推移しました。イタリアの財政運営に対する不透明感、トルコリラの急落、欧州の銀行が保有するトルコ企業株や投資回収に対する懸念等を受けリスク回避の動きが広がったことから、信用スプレッドは拡大しました。

中国元/円相場は円高中国元安となりました。当作成期は、中国経済に減速の兆しが現れたことや米中の貿易摩擦問題に対する懸念の高まり等が中国元安の要因となりました。PBOC（中国人民銀行）が緩和的な金融政策を実施したことにより、投資家の中国経済減速への懸念はやや後退しましたが、中国元が上昇に転じるには至りませんでした。

国内短期金融市場では、3ヵ月物国庫短期証券利回りは概ね $\Delta 0.33\% \sim \Delta 0.12\%$ 近辺で推移し、利回りは低下しました。7月31日の日銀金融政策決定会合において政策調整を行うとの観測記事によって国債市場のボラティリティ（価格の変動性）が高まりましたが、国内短期金融市場への影響は限定的でした。

ポートフォリオについて

●当ファンド

ダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス（CNY）の組入比率は原則として高位を維持し、DIAMマネーマザーファンドへの投資も行いました。

●ダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス（CNY）

世界の主要金融機関が発行するハイブリッド証券を中心にポートフォリオを構成しました。発行体の業績動向や信用力に加えて、ハイブリッド証券特有のリスクを評価し、分散投資を基本としました。国別配分においては、フランス、米国、英国のウェイトを高く維持しました。債券種別においては、期限付劣後債のみのポートフォリオとしました。

また、ユーロ、米ドルなど複数通貨（以下、「原資産通貨」といいます。）を売り予約し、中国元を買い予約する為替取引を行いました。

●DIAMマネーマザーファンド

残存期間の短い政府保証債などで運用を行いました。

分配金

当作成期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第100期	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期
	2018年4月24日 ~2018年5月23日	2018年5月24日 ~2018年6月25日	2018年6月26日 ~2018年7月23日	2018年7月24日 ~2018年8月23日	2018年8月24日 ~2018年9月25日	2018年9月26日 ~2018年10月23日
当期分配金（税引前）	55円	55円	55円	55円	55円	55円
対基準価額比率	0.49%	0.51%	0.52%	0.53%	0.52%	0.53%
当期の収益	55円	49円	52円	51円	55円	52円
当期の収益以外	-円	5円	2円	3円	-円	2円
翌期繰越分配対象額	3,160円	3,155円	3,153円	3,149円	3,153円	3,151円

（注1）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

（注3）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続き、ダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス（CNY）を高位に組入れることを基本とした運用を行います。また、D I AMマネーマザーファンドへの投資も行います。

●ダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス（CNY）

主要先進国の国債利回りが低水準で推移する中、高い利回りを享受できるハイブリッド証券に対する投資家の需要は根強く、市場は堅調に推移すると思われます。引き続き、発行国、発行体、銘柄の分散を十分に図りながら、世界の主要金融機関に継続して投資します。銘柄選択においては、繰上償還リスク、利息・配当繰延リスクなど、ハイブリッド証券特有のリスクが債券価格に十分織り込まれた銘柄を厳選します。加えて、「原資産通貨」を売り予約し、中国元を買い予約する為替取引を行います。

●D I AMマネーマザーファンド

日銀の金融政策の物価目標2%までは依然として距離があるため、当面は政策の据え置きが予想されます。マイナス金利政策が継続されると考えられるため、政府保証債や地方債などを組入れて運用を行っていきます。

お知らせ

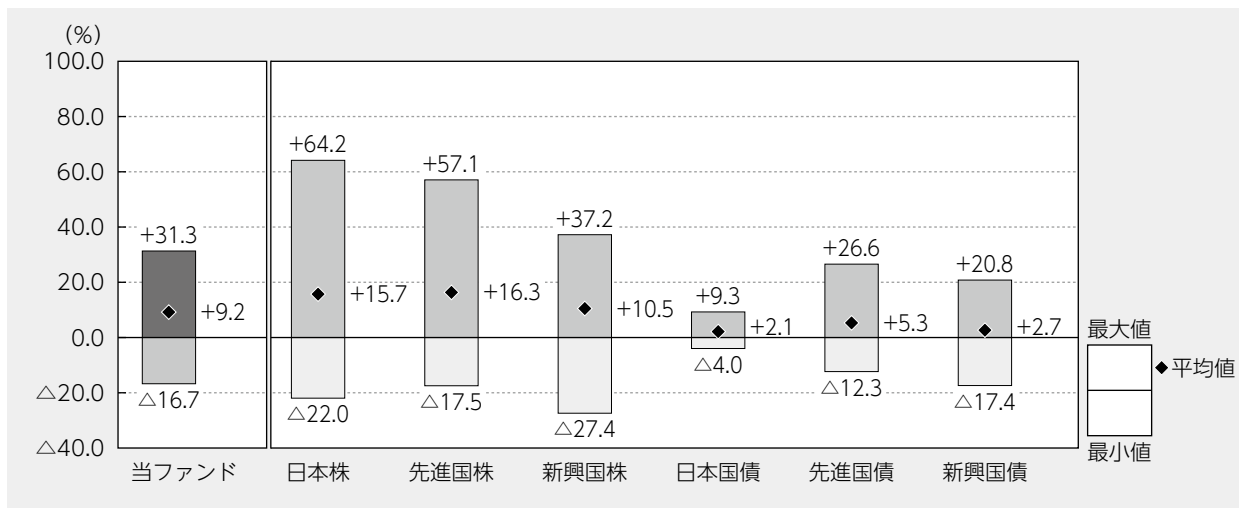
■信用リスクを適正に管理する方法を規定する所要の約款変更を行いました。

(2018年7月24日)

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	2010年1月20日から2020年1月23日までです。
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として、積極的な運用を行います。
主要投資対象	主として円建ての外国投資信託である「ダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス (CNY)」の投資信託証券へ投資を行います。また、証券投資信託である「DIAMマネーマザーファンド」受益証券への投資も行います。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。
運用方法	<p>主として円建ての外国投資信託への投資を通じて、先進国の金融機関(*1)が発行したハイブリッド証券(*2)に実質的な投資を行います。外国投資信託への投資比率は、原則として高位を保ちます。</p> <p>(*1) 金融機関に関連する特別目的会社を含みます。</p> <p>(*2) ハイブリッド証券とは、普通社債と株式の中間的特性を有する有価証券であり、劣後債、優先出資証券などをいいます。</p> <p>外国投資信託においては、ユーロ、米ドルなど複数通貨(以下、「原資産通貨」といいます。)建てのハイブリッド証券に投資しますが、この「原資産通貨」を売り予約し、中国元を買い予約する為替取引を行います。</p>
分配方針	<p>決算日(原則として毎月23日。休業日の場合は翌営業日。)に、経費控除後の利子配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額を分配対象額とし、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。原則として利子配当等収益等を中心に安定分配を行うことを基本とします。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。また、毎年1月および7月の決算時には、上記安定分配相当額に委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。</p> <p>「原則として利子配当等収益等を中心に安定分配を行う」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。また、基準価額の水準、運用の状況等によっては安定分配とならない場合があることにご留意ください。</p>

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2013年10月～2018年9月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容 (2018年10月23日現在)

世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ (毎月分配型) <中国元コース>

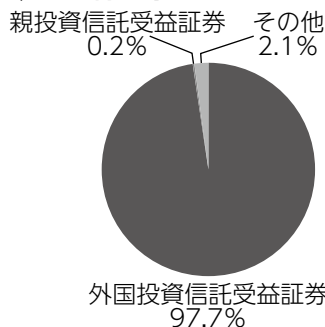
◆組入ファンド等 (組入ファンド数：2ファンド)

	第105期末
	2018年10月23日
ダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス (CNY)	97.7%
D I A M マネーマザーファンド	0.2
その他	2.1

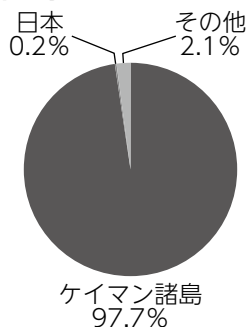
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

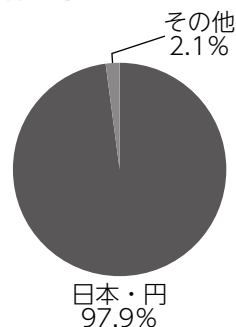
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

純資産等

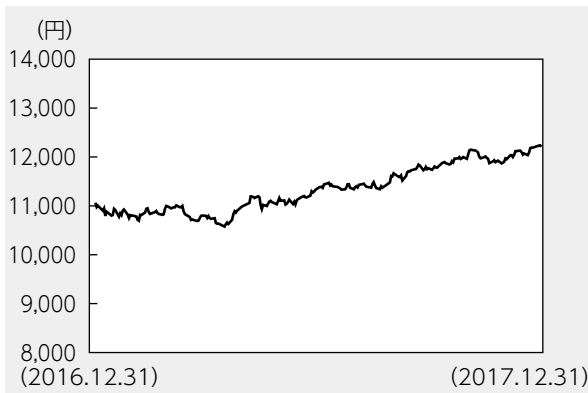
項目	第100期末	第101期末	第102期末	第103期末	第104期末	第105期末
	2018年5月23日	2018年6月25日	2018年7月23日	2018年8月23日	2018年9月25日	2018年10月23日
純資産総額	300,163,851円	285,424,497円	276,255,966円	270,734,538円	274,518,760円	269,623,617円
受益権総口数	269,541,602口	264,855,599口	263,009,601口	263,011,479口	263,289,139口	262,772,173口
1万口当たり基準価額	11,136円	10,777円	10,504円	10,294円	10,427円	10,261円

(注) 当作成期間 (第100期～第105期) 中における追加設定元本額は2,624,763円、同解約元本額は17,613,218円です。

組入ファンドの概要

【ダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス (CNY)】（計算期間 2017年1月1日～2017年12月31日）

◆基準価額の推移



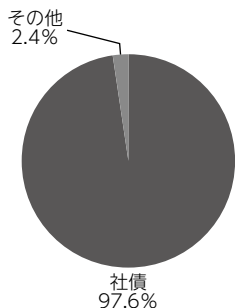
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
ABN AMRO BANK N 7.125% 07/06/2022	ユーロ	3.8%
SANTANDER ISSUA 2.50% 03/18/25	ユーロ	3.8
BANQ FED CRD MU 3.00% 05/21/24	ユーロ	3.7
BPCE 4.63% 07/18/23	ユーロ	3.6
SKANDINAV ENSKI 05/28/26	ユーロ	3.5
BBVA SUB CAP UNIPERS 3.5% 04/11/24	ユーロ	3.1
SOCIETE GENERAL 4.00% 06/07/23	ユーロ	2.8
CREDIT SUISSE FXtoVA 09/18/25	ユーロ	2.7
INTESA SANPAOLO 3.93% 09/15/26	ユーロ	2.6
CREDIT AGRICOLE 7.38% 12/18/23	イギリス・ポンド	2.6
組入銘柄数	56銘柄	

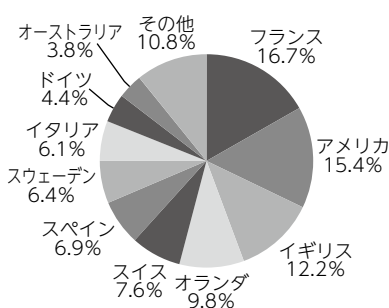
◆1口当たりの費用明細

当該情報の取得が不可能なため開示しておりません。

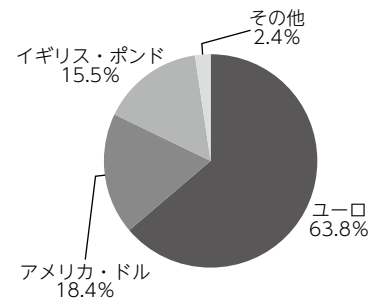
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



- (注1) 基準価額の推移はダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス (CNY) の計算期間（決算日が休日の場合は前営業日まで）のもので、また、分配金を再投資したものとアセットマネジメントOneが作成したものです。
- (注2) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分については、ダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンドの決算日（決算日が休日の場合は前営業日）現在の状況を表示しております。なお、組入外貨建資産については、ダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス (CNY) において、「原資産通貨」を売り予約し、中国元を買い予約する為替取引を行っています。
- (注3) 比率はダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンドの純資産総額に対する組入有価証券評価額の割合です。
- (注4) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。
- (注5) 国別配分については、上位11位以下をその他に含めて集計しています。
- (注6) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、管理事務代行会社であるMizuho Bank(USA)のデータを基にアセットマネジメントOneが作成したものです。組入全銘柄や費用の総額に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

D I A Mマネーマザーファンドの概要については、11ページをご覧ください。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、㈱東京証券取引所が有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

